

《病院理念》



私達は院是「誠」の医療を推進いたします
 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
 1. 私達は私達の規則を尊重しよう

《基本方針》

- 1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
- 1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のごもった公平な医療をいたします

感染管理認定看護師（以下CNIC）の資格を取得し、5年が経過しました。
 認定看護師とは特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができる者として日本看護協会が認定している資格です。私の取得したCNICは、全21分野中の2番目に多い取得者数となっています。この理由としましては、日本において医療の高度化・複雑化等を背景とした、生命に危険を及ぼす医療事故が後を絶たない状況となっていることが挙げられます。
 本来病院などの医療施設は「病気を治す」ところですが、不幸にして医療事故に遭遇することで生命を



『感染管理と安全な医療の提供について』

医療安全管理室

宮内 雅文

脅かす場へと変容します。医療事故には医療従事者による人身事故だけでなく、近年は薬剤耐性菌による医療関連感染が発生しており大きな社会問題となっています。それに伴い国民の医療に対する意識も大きく変化し、医療機関に対して安心で満足度の高い、質の高い医療の提供が求められています。医療の質を保証するためには患者の安全を何よりも優先すべきであり、医療に従事するすべての人が患者の安全を最優先に考える態度や考え方が必要です。感染防止対策は患者及び医療従事者の安全を守るための対策であり、科学的根拠に基づいた知識と技術をもって情報の提供を行い、全職員が連携・協働して活動することが必要です。

私がCNICとして感染管理に関わっていくことは、看護師が患者の最も近くにいる立場であり、どの部署・職種とも関わりのある存在であること、問題を客観的に捉えることの出来る立場であることから医療施設における感染管理の中心的役割を果たすことができるかと考えています。

これから冬にかけ、インフルエンザの流行する季節となります。インフルエンザの予防はワクチン接種が基本です。ワクチン接種は65歳以上の高齢者や妊婦、慢性の肺疾患・心疾患を持つ成人、乳幼児・小児には重症化を防ぐ意味で有用です。流行期のマスク着用・帰宅後の手洗い・うがいと併せることで感染予防につながります。

ワクチンを正しく理解して、有効に活用しましょう!

薬局長 小笠原 充

現在日本においては、予防目的で麻疹・風疹・インフルエンザなど21種類(24製剤)の単独ワクチンと、DPT-IPV(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ混合ワクチン)、MR(麻疹・風疹混合ワクチン)など4種類の混合ワクチンが使用されています。またこれらのワクチンは、予防接種法で定められている定期接種と、その他の任意接種に分けられます。

そもそもワクチン接種とは、体の「免疫システム」を利用し病気を起こすウイルスや細菌の病原性・毒性を弱めたり、なくしたりしたものを体内に入れることにより、体に大きな負担をかけることなく安全に免疫をつけ、それらの病気の発症を抑えたり、発症しても軽くすむような目的で考えられた方法です。

もちろん治療薬と同じで有害作用がないのが理想ですが、ワクチンにおいても接種後の副反応による健康被害をゼロにすることは不可能と思われます。

定期接種後に万一健康被害が起こった時は、予防接種法による健康被害救済措置を、任意接種後に起こった時は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)法により給付を受けることができます。

今年もインフルエンザの流行する季節がやってきました。インフルエンザにかからない、かかっても重症化を予防する、または流行させないためには、「インフルエンザワクチン」の接種が不可欠です。昨年度日本で流行したインフルエンザ株と、今年度のインフルエンザワクチンの製造株を表に示します。

平成24年度インフルエンザ流行株	平成25年度インフルエンザ製造株
A/H1N1pdm09	A/H1N1pdm09
A/H3N2香港型	A/H3N2テキサス
B/ビクトリア	B/マサチューセッツ

<平成24年度のインフルエンザワクチン消費量:約2800万本>

最近では、抗インフルエンザウイルス薬も増え、治療効果も向上しました。昨年度に日本で使用された、抗インフルエンザウイルス薬の資料を表に示します。

【平成24年度の抗インフルエンザウイルス薬の使用状況(シンメトレル除く)】

全国使用状況	人数換算	金額
タミフル(カプセル+DS)	400万人	110億円
リレンザ(吸入)	220万人	22億円
イナビル(吸入)	370万人	110億円
ラピアクタ(注射)	38万人	21億円
合計	1028万人	263億円

昨年（平成24年）度のインフルエンザワクチンの国民全体の接種率は約20～30%、抗インフルエンザウイルス薬の投与を受けた人が約10%弱と予測されます。ちなみに日本は抗インフルエンザウイルス薬の世界最大の消費国で、世界中の60～70%を占めているといわれています。

この数字をどのように評価するかについては、いろいろな意見があると思います。ただ、ワクチンの本来の目的は「予防」です。接種率を上げなければ、期待した効果は生まれません。

65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する60～64歳の人は定期接種です。なぜ定期接種に組み入れられたかを考えてください。高齢者は、重症化したり肺炎など合併症を併発し死亡する危険性が高いため、これらを少しでも防ぐために組み入れられたのです。「治療薬があるから・・・」と予防をおろそかにするのは、大変危険な考えだと思いませんか？

続いて、日本で使用されているその他のワクチンについて紹介します。

日本は欧米などの国に比べ予防接種制度が遅れているといわれています。病気の重大性やワクチンの大切さなど、国民に対しての啓蒙が欧米などと比べ少なかったように思われます。

日本も平成22年11月26日から「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」が実施され、それまで個人負担で行われていたワクチン接種が公費負担で行えるようになりました。

公費になってしばらくして、小児の「ヒブワクチン」「肺炎球菌ワクチン」による副反応が問題になりましたが、因果関係が否定され現在は順調に接種率も上がっています。

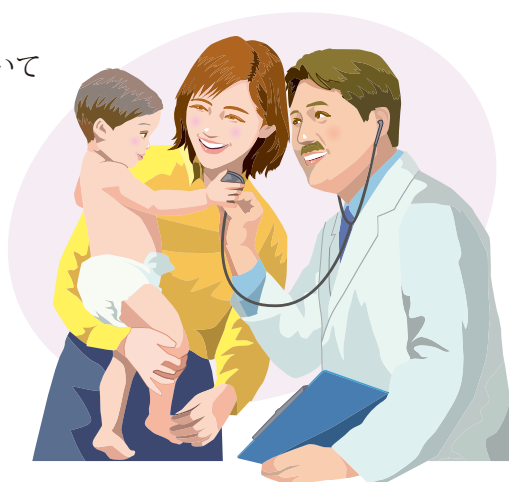
最近では、子宮頸がん予防のための「HPVワクチン」接種による副反応が問題となり、副反応検討部会ならびに医薬品安全調査会における議論を受け、厚生労働省から『HPV定期接種の積極的な勧奨を一時中止する』旨の勧告が出されました。その後ワクチン接種を希望する人が極端に減少しているようです。

この件に関しては、WHO（世界保健機関）の諮問委員会から、安全性に大きな懸念はないとの声明が発表されており、FIGO（国際産科婦人科連合）も安全であり、接種継続のサポートを表明しています。

「HPVワクチン」は、これまでに世界中で約1億7500万回分が使用され、定期接種導入後に「積極的勧奨の一時中止」の勧告が出された国はなく、今後のわが国のワクチン行政の動向に世界中が注目しているといわれています。



本誌11月号が発行される頃には、厚生労働省からワクチン接種の再評価結果が、発表されているかもしれません。わが国は世界有数の医療大国です。ワクチンを正しく理解し、適切なワクチン行政のもと、世界有数のワクチン大国になってもらいたいと切に願います。



院外医療講演の報告

『リハレクしましょう ～認知症予防について～』

9月10日(火)午後2時より、高齢者生きがい創造学園にて、作業療法科 主任 曾我部有司による院外医療講演を開催しました。受講者は49名でした。

講演では、まず認知症についての説明と、脳・筋力トレーニングや柔軟体操を行いました。

後半ではホワイトボードに描いた絵から対象を連想するゲーム、両手じゃんけん、昔懐かしい紙風船での遊びや、昔の教科書の音読、そして最後に新居浜民謡の合唱を行いました。

リハレクとはリハビリとレクリエーションからとった言葉で単にリハビリを行うだけでなく、レクリエーションを通じて認知症を予防する意味が込められています。今回の講演でもレクリエーションにより、最後まで受講者から笑顔が見られる講演となりました。



『高齢者と薬について』

9月12日(木)午後2時より、四国労働金庫新居浜支店において、薬局長 小笠原充による院外医療講演を開催しました。

対象は「ろうきん友の会」会員の60歳以上の男女で、受講者は29名でした。

日本人の平均寿命が上がることで高齢化がかつてないスピードで押し寄せていることが、現在の医療財政を圧排している事実を詳細なデータで紹介されていました。

大事なのは平均寿命よりも健康寿命であること、健康寿命を延ばすためにも薬についての正しい知識をもち、セルフメディケーションを実践して欲しいとの講演でした。

最近知られつつあるジェネリック医薬品についても触れられ、講演終了後も受講者から質問が相次ぎました。



『腰痛と予防体操について』

9月18日(水)午後1時30分より、ケアプラザ新居浜にて、理学療法科 主任 原和樹による院外医療講演を開催しました。対象は施設職員で、受講者は18名でした。

講演では、まず腰痛を起こす原因や姿勢、腰痛疾患に対する基礎知識、腰痛症の予防・対処法などスライドショーを用いて説明しました。

後半では、ストレッチや予防運動、介護現場における介助姿勢等について実演を交えながら紹介しました。

介護職員の大多数の方が腰痛を経験されており、今回の講演で解説したストレッチや運動により筋肉を鍛え、介護現場で無理のない姿勢を保つことにより、腰痛予防と安定した介助の一助になれば幸いです。

講演中も随時、受講者から質疑が行われ、関心の高さが伺える講演となりました。



新しい医療機器のお知らせ

臨床工学科 吉岡 淳志

ホルター心電計を新しくしました。

世界最小、最軽量クラスの
24時間心電計導入。

たて42mm よこ28mm
薄さ、なんと9mm
重さはわずか13g



ホルター心電計とは
24時間連続して患者さまの心電図を記録し、不整脈の程度を検査する装置です。



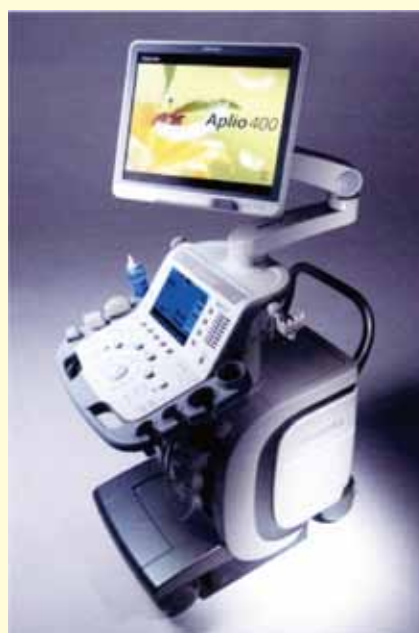
装着の様子

従来品は、重たい心電計にコードがたくさんぶら下がっていましたが、電極とリード線が一体型となっておりスッキリ装着でき「つけているのを忘れるくらい」との感想が寄せられています。

機種名：Cardy Pico 303

超音波画像診断装置を更新しました。

- 従来品よりも解像度が高く表在から深部まで観察が可能です。
- 豊富な機能で検査時間の短縮にもつながっています。



機種名：東芝 Aplio400

日時 平成25年**11月9日(土)**
12:00~15:30

場所 **リーガロイヤルホテル新居浜**
(新居浜市前田町6番9号)

参加費無料
食品無料サンプルあり

血糖検査など

時間12:00~13:00
医療相談、糖尿病用食品等を展示

講演1 テーマ 時間13:00~13:40

「腎臓ってなあに？」

【講師】愛媛県立中央病院 院長 **西村 誠明**

講演2 テーマ 時間13:50~14:10

「腎臓を守る豆知識」

講演3 テーマ 時間14:10~14:20

保健センターより にいはまげんき体操

講演4 テーマ 時間14:30~15:30

仙九郎 ライブコンサート

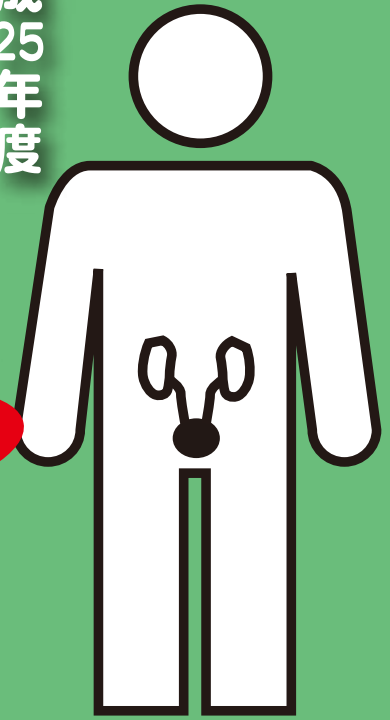


【演奏】**仙九郎(ロス・コンドルス)**

日本や世界の民謡を演奏の他、近年は和楽器と洋楽器による演奏及びアンサンブルの為の作曲等を手掛ける

新居浜市民公開糖尿病教室

平成25年度



第49回 全国糖尿病週間 平成25年11月11日(月)~11月17日(日)

腎臓にやさしい生活改善で、糖尿病による腎臓障害を予防しましょう。

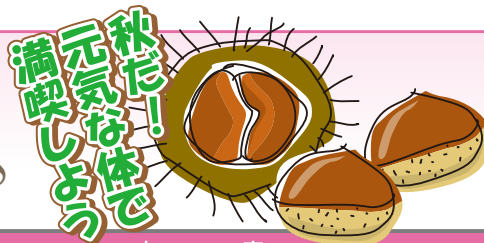
お問い合わせ 住友別子病院 医事課(0897)37-7116

主催●新居浜糖尿病地域医療研究会 共催●新居浜市

●後援:社団法人新居浜市医師会、新居浜病院栄養士協議会、愛媛県病院薬剤師東予支部、愛媛県臨床検査技師会、愛媛新聞社、(株)ハートネットワーク、愛媛県糖尿病協会、愛媛県看護協会
●協賛:サノフィ(株)、小野薬品工業(株)、第一三共(株)、(株)三和化学研究所、武田薬品工業(株)、テルモ(株)、日本イーライリリー(株)、MSD(株)、ノボルディスクファーマ(株)
大日本住友製薬(株)、アーグレイ(株)、アポットジャパン(株)、協和発酵キリン(株)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、愛媛東部ヤクルト販売(株)、大塚食品(株)、(株)H+Bライフサイエンス
日清オイリオグループ(株)、(株)明治、伊那食品工業(株) ※順不同

糖尿病教室のお知らせ

インフルエンザを予防し、秋を満喫しましょう♪



日時 毎週水曜日 午後2時～
場所 外来棟3階 カンファレンスルーム



外来棟3階のご案内

開催日	内 容
11/6(水)	出かける時の注意点 ～インスリンやお薬も忘れずに～ 担当：看護師、薬剤師
11/20(水)	足腰が悪い人も無理なく運動しよう 担当：理学療法士
11/27(水)	クイズでおさらいしよう 担当：看護師ほか

●どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。

※都合により内容が変更になる場合があります。

第18回 十全公開糖尿病教室

【日 時】 平成25年 **11月13日(水)**
11:15～14:15 (受付/11:00～)
【場 所】 十全総合病院 救急棟5F 大会議室



【実施内容】 11:15～11:45

〔講 演〕 管理栄養士：近藤
 『糖尿病食は健康食』



12:00～13:30

〔食事会〕 **創作イタリアンミニコース**

『エネルギーを気にせずおいしく食べよう』

◎血糖測定、お薬・運動についてのワンポイントアドバイスあります。

13:45～14:15

〔講 演〕 内科：野呂医師

『糖尿病、これだけは知っておこう～予防と治療～』

※食事会の申込は、10月31日をもって締め切らせていただきました。
 食事会以外は参加人数・締切日など制限はありませんので、多数の方のご参加をお待ちいたしております。

詳細につきましては、栄養相談室または内科外来までお問い合わせください。

※糖尿病の方、糖尿病を予防したい方、そのご家族やご近所の方、どなたでもお気軽にご参加ください。

～みんなで参加して、糖尿病を楽しく勉強しよう～

《バス停新設のご案内》

平成25年10月1日より、せとうちバスの今治～新居浜駅線の運行経路が「昭和通り」から「平和通り(市役所通り)」へ変更されました。これに伴い、平和通りに「十全病院南口」のバス停が新設されましたのでお知らせいたします。

「十全病院南口」バス停時刻表

病院南側 平和通り(市役所通り)
●今治～小松～西条～新居浜駅線由山根グランド～マイントピア別子線

今治・棧橋方面行	新居浜駅方面行
6:52	—
7:42	—
—	8:45
9:12	9:45
10:12	10:50
11:12	11:50
12:12	12:50
13:12	13:50
14:12	14:50
15:12	15:50
16:12	16:50
17:12	17:50
18:12	18:55
19:07	19:48

「十全総合病院前」バス停時刻表

病院西側
●広瀬公園～住友病院前～十全総合病院前～元塚～労災病院前～多喜浜線 ●住友病院前～十全総合病院前～元塚～平形～多喜浜～黒島線

多喜浜駅方面行		広瀬公園方面行		黒島行		住友病院前行	
—	7:42	—	7:26	—	—	—	7:26
8:14	8:50	8:02	8:30	8:01	8:49	—	8:13
9:25	9:55	9:05	9:33	—	9:49	—	9:13
—	10:37	10:07	10:37	—	10:49	—	10:13
—	11:27	—	11:20	—	—	—	11:13
12:07	12:59	12:09	12:50	—	12:29	—	12:13
—	13:37	—	13:41	—	—	—	—
—	14:31	—	14:20	—	14:59	—	14:03
—	15:07	15:13	15:50	—	—	—	—
16:03	16:47	—	16:45	—	16:27	—	16:23
—	17:32	—	17:30	—	17:27	—	17:58
—	18:22	—	18:17	—	18:32	—	—
—	19:06	—	—	—	—	—	—

は日曜日、祝祭日の運行はありません。

(平成25年10月1日現在)

所在地とバス停のご案内



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にはいま)駅下車、タクシーで約10分

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号 来院予定日

11/6水・20水

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の育成校は【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
総合福祉館 コミュニティハウス三恵
福祉館 恵海
児童福祉施設 中萩保育園
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。